

印青連移動サロンの報告

毎年恒例の、印青連移動サロンが9月16日(土)に開催されました。社員さんにも多数御参加いただき、総勢約90名となりバス2班に分けてのスタート。よくばり見学会の名の通り、3社の工場を見学。

(株)太陽堂成発社では、ラミネート、光沢加工などの高付加価値の特殊印刷の現場や印刷物を見せて頂きました。様々な後加工で印刷物に迫力や高級感を持たせるなど、印刷物の更なる可能性を感じました。

(株)ウキマでは、断裁・折り・綴じ加工の現場を見せて頂き、製本されて形になっていく工程を勉強。また自社の強みを活かしたオリジナルメモ帳の開発・販売は我々にも大いに参考になるものがありました。

(株)T&K TOKAでは、インキが出来るまでとして、充填までの行程を見せて頂きました。普段、使用していますが見ることは少ないのではないのでしょうか。商品説明では、多種多様なインキのラインナップがある中、パウダー散布を必要としない「キレイナ」インキをご紹介して頂きました。

半日で3ヶ所と大忙しの見学会ですが、車内ではクイズ大会があったりと楽しく親睦を深めるとともに、見聞を広める事ができた移動サロンでした。



印青連ホームページ リニューアル

印青連のホームページが近日、リニューアルします！よりパワーアップして、様々なイベントや業界の役立つ情報などもリアルタイムで発信していきますので、リニューアルまでもう少しお待ちください。

また、メールマガジンも配信していきます。登録は各組合の役員までお問い合わせください。

印青連加盟団体のご紹介～ Part2 ～ 東京都製本工業組合 東京製本二世連合会

単に印刷物のみならず、紙製品の殆どが製本の技術によって生み出されると言っても過言ではありません。当会は、1982年に設立された業界の更なる前進を目指す若手経営者集団です。

印青連 イベント情報

印青連駅伝部 文の都 12時間駅伝

10月28日から29日にかけて行われました。雨が降る中での開催でしたが、多くの皆様の応援のお蔭で無事に完走。93周して、全体の37位と大躍進の成績を収めました。

印青連マスタース合同ゴルフコンペ

11月3日に笠間カントリークラブにて、10組36名で行われました。晴天のもと、皆様、日頃の練習の成果を発揮していました。優勝は、FACEの斎藤秀勝さん。次は来春の開催になります。

【今後のイベント情報】

印青連シナジーゼミナール

11月15日(水)19時より六本木の富士ゼロックスショールームにて開催。今回は、インタラクティブをテーマに(株)デイジーの稲垣匡人様を講師に迎え、印刷と映像との新しい融合について体験できます。多くの皆様の参加をお待ちしております。

印青連大忘年会

12月12日(火)に、下町！鶯谷のダンスホールを貸しきって、大忘年会を開催します。毎年、様々な趣向を凝らして行われてますが、勿論今年も期待して下さい！皆様が楽しめる企画満載ですので、予定をブロックしておいて下さいね。

業界豆知識

今回は、日本の製本の歴史です。起源は、中国から伝承した卷子本とされています。卷子本は途中を見たい時でも全部広げなければならず不便な為、折りたたむ様にした折り本が使われました。ただ、長く使うと折り目が擦れてバラバラになる事で、和綴じ本が作られました。和綴じ本の起源は千年以上も遡ります。二つ折りした本文を束ねて糊付けし、最後に表紙を糊で接着したものです。これを発展させたのが大和綴じで、糊を使わず糸でかがって表紙の二ヶ所を紐で結ぶ形式です。江戸時代に入ると木版印刷による出版ブームで、江戸職人による技と粋が集約され様々な綴じ方が生み出されました。

江戸中期には、洋式製本が伝わりますが、明治時代初期に印刷局に雇用されたイギリス人が本格的な洋式製本を伝授したのが近代製本の始まりです。断裁機・針金綴じ機が輸入され、機械化が進み近代化への道が開け、洋式製本の量が増加しました。以降、機械の国産化も進み製本業界も近代製本へ大きく前進していくのです。

詳しくはブログにて



卷子本



大和綴じ

印青連とは？

印刷産業青年連絡協議会(通称、印青連)は、東京都の印刷関連組合青年部の集まり。2001年に発会し、現在加盟青年会は11団体。「印刷」という非常に範囲の広い業界で、あまり交流のなかった異業種の仲間との交流を深める事で需要の拡大を図るのが印青連の最大の目的です。様々なイベントを通し、異業種間の社員交流を行うことで見聞や人脈の拡大、今まで出来なかった内容の仕事をするパートナー作りの場として存在価値を年々高めてきています。

編集後記

印青連ニュースも今回で第3号。少しずつですが、載せる情報も増えてきて形になってきたのかなぁと感じています。いずれは、A3にサイズアップするのもかも！？今年も早くも11月！だいぶ寒くなってきたので、皆様も体調には気を付けていただいて師走を駆け抜けて行きましょう。

(ネットワーク委員会 清水省吾)